

【小出俊介先生抄録】

【マイクロレイヤリング ～Micro Layering Technique Seminar～】

セラミックスを用いた修復においてオールセラミックスが主流となってきた昨今、モノリシッククラウンの需要も多くなっていると感じる。

ジルコニアやニケイ酸リチウムの母体にステインのみで色調再現することも多く、臼歯の補綴はより多くのモノリシッククラウンで製作されているのだが、前歯はモノリシッククラウンのみで対処できるとは言い難い。かといってフルレイヤリングをする事は昨今の働き方改革による労働時間の短縮によりなかなか大変になってきていて、長年セラミックスの経験を積んだ者しかその手法を扱うことが出来なくなってきたもいる。

オールセラミックスの効果的な手法としてフェイシャルカットバックを用いてのレイヤリングも主流になりつつあるのだが、昨年に Micro Layering 専用陶材が発売されたので、今回のセミナーでは、この Micro Layering 専用陶材を用いて、より時短で効率良く、ステイン法より1ランク審美性の高いオールセラミッククラウンの製作方法を提供したいと思う。

ステイン法のみしている方や、これからセラミックスを始めたい方にもオススメの手法であるので、この機会に体験していただきたいと思う。